

日本の現代アートがここにある。



TAKAHASHI COLLECTION

Mirror Neuron

高橋コレクション展 ミラー：ニューロン

2015年4月18日[土]－6月28日[日] 東京オペラシティ アートギャラリー

開館時間＝11:00－19:00（金・土は20:00まで／最終入場は閉館の30分前まで） 休館日＝月曜日（ただし5月4日は開館）

入場料＝一般1200 [1000] 円／大・高生800 [600] 円／中学生以下無料 お問い合わせ＝03-5777-8600（ハローダイヤル）

同時開催：「収蔵品展 051 3O+A」、「project N 60 富田直樹」の入場料を含みます。収蔵品展入場券 200 円（各種割引は無し）もあり。[] 内は15名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

主催＝公益財団法人 東京オペラシティ文化財団／朝日新聞社 協賛＝日本生命保険相互会社 協力＝相互物産株式会社 特別協力＝高橋龍太郎／高橋コレクション／医療法人こころの会 企画協力＝内田真由美／児島やよい

**Saturday, 18 April – Sunday, 28 June, 2015 Tokyo Opera City Art Gallery Open hours: 11:00 – 19:00 (to 20:00 on Fridays and Saturdays. Entry up to 30 minutes before closing)
Closed on Mondays (except 4 May) Admission: adult 1200 [1000] yen, university and high school students 800 [600] yen, junior high and under: free**

*Fare includes admission for "From the Terada Collection 051 3O+A" and "project N 60 TOMITA Naoki". Admission for collection exhibition only is 200 yen (no discount).

*Fares in brackets are rates for groups of 15 or more. Free entrance for person with disability certificate and an attendant. Only one reduction is available at a time. Nonrefundable.

Organisers: Tokyo Opera City Cultural Foundation, The Asahi Shimbun / Sponsor: Nippon Life Insurance Company / Supported by: Sogo Bussan Co., Ltd. /

With Special Support of: TAKAHASHI Ryutaro, Takahashi Collection, The Medical Corporation Kokoronokai / In Collaboration with: UCHIDA Mayumi and KOJIMA Yayoi

ARTGALLERY
TOKYO OPERA CITY

日本の現代アートシーンは、正面に西欧のアートミラーがあり、背後に千年の伝統ミラーを見据える合わせ鏡の只中にある。

コレクター・精神科医 **高橋龍太郎** 「高橋コレクション」は、精神科医・高橋龍太郎氏の収集による現代アートのコレクションであり、1990年代以降の日本のアートシーンを俯瞰するうえで欠かせない存在として、高い評価を得てきました。1990年代に収集を本格化させた高橋氏は、奈良美智、村上隆、会田誠、ヤノベケンジといった、現在日本を代表する作家たちにごく早い時期から注目し、彼らの重要作品を次々と収集することで、一躍現代アートのコレクターとして名を馳せました。また、近年ではより幅広いコレクションを志向し、「もの派」をはじめキャリアの長い作家なども積極的に収集する姿勢を見せています。高橋氏の収集に注ぐ情熱は、つねに日本のアート、日本の文化に対する溢れる愛情と透徹した眼差しに裏打ちされています。本展は、高橋氏が日本のアートと文化を考えるためのキーワードとして提案する「ミラー・ニューロン」をタイトルに掲げ、歴史的な視野から作品を選んで、日本の現代アートの流れを読み解いていくものです。草間彌生、舟越桂、Chim↑Pom、名和晃平ら52作家、約140点の作品から、現代アートの息吹が生き生きと体感できることでしょう。

〈出品作家〉 | 会田誠 | 青木陵子 | 青山悟 | 浅井裕介 | 荒木経惟 | 安藤正子 | 池田学 | 伊藤存 | 井上有一 | 榎倉康二 | 大岩オスカル | 岡田謙三 | 小沢剛 | 小谷元彦 | 風間サチコ | 榎木知子 | 加藤泉 | 加藤美佳 | 金坂健二 | 草間彌生 | 鴻池朋子 | 小林孝亘 | 小林正人 | 近藤亜樹 | 塩保朋子 | 菅木志雄 | 須田悦弘 | 関根伸夫 | 辰野登恵子 | 束芋 | Chim↑Pom | 中村一美 | 奈良美智 | 名和晃平 | 西尾康之 | 蜷川実花 | 橋本雅也 | 舟越桂 | 町田久美 | 松井えり菜 | 丸山直文 | Mr. | 宮永愛子 | 村上隆 | 村瀬恭子 | 森村泰昌 | 森山大道 | やなぎみわ | ヤノベケンジ | 山口晃 | 横尾忠則 | 李禹煥 |

奈良美智《Candy Blue Night》
2001 アクリル絵具、キャンバス
© Yoshitomo Nara



草間彌生《レベティション A,B》
1996 フォトコラージュ、ペイント、紙
Photo: KIOKU Keizo © Yayoi Kusama
Courtesy of KUSAMA Enterprise, Ota Fine Arts



松井えり菜《食物連鎖 Star Wars》
2008 油彩、キャンバス、オルゴール
© Erina Matsui
Courtesy of YAMAMOTO GENDAI



舟越桂《遠い手のスフィンクス》
2006 橋に彩色、大理石、革、鉄
© FUNAKOSHI Katsura, Courtesy of Nishimura Gallery



【ミラーニューロン】ミラーニューロンはイタリア、パルマ大学のジャコモ・リズラッティによって、1996年発見された神経細胞である。実験者がエサを拾い上げたときに、それを見ていただけのマカザルが、エサを取るときと同じ脳の部位が活動したことに由来する。このように他者の行動を自分もやったかのように映すニューロンは、人間にも存在することが確かめられている。人間はこのミラーニューロンによってもたらされる模倣行動によって、他者の行動を理解し共感する。人間の言語をこのミラーニューロンによって獲得されたものとする学説もある。しかし人間にとって最大の模倣は自然への模倣だろう。アリストテレスは、芸術は自然を模倣するとして、模倣（ミメシス）を人間の本質と高く評価した。1980年代以降現代アートは模倣と引用によるシミュレーションイズムの影響なくしては語れない。しかしシミュレーションといえば、日本には本歌取り、見立て、やつし等、千年の歴史がある。とするなら日本の現代アートシーンは、正面に西欧のアートミラーがあり、背後に千年の伝統ミラーを見据える合わせ鏡の只中にあることになる。それは世界のアートシーンのなかの稀有な痙攣する美になるのか。はたまた無限に映し返される煉獄に過ぎないのか。（コレクター・精神科医 高橋龍太郎）



村上隆《ズザザザザ》
1994 アクリル絵具、シルクスクリーン、キャンバス、板
© 1994 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



会田誠《ジュサーミキサー》
2001 アクリル絵具、キャンバス
Photo: KIOKU Keizo
© AIDA makoto Courtesy of Mizuma Art Gallery



森村泰昌《第三のモナ・リザ》
1998 カラー写真プリント
© Morimura Yasumasa Courtesy Shugo Arts



菅木志雄《補われた素材》
1986 木、パテ
Photo: KIOKU Keizo © Kishio Suga

関連イベント

◎ギャラリートーク「コレクター VS アーティスト」

高橋龍太郎氏と出品作家が展示室の作品を前にしてトークします。

- ・第1回 4月18日（土）16:00～17:00 ▶ 高橋龍太郎氏、青山悟、風間サチコ、加藤泉、塩保朋子ほか
- ・第2回 5月24日（日）16:00～17:00 ▶ 高橋龍太郎氏、鴻池朋子、近藤亜樹、松井えり菜、宮永愛子ほか

会場：東京オペラシティ アートギャラリー内

参加には当日入場券が必要です。（申込不要。ただし参加状況により入場制限を行う場合があります。）

◎対談「名和晃平 VS 鈴木芳雄」

美術ジャーナリスト、編集者の鈴木芳雄氏と出品作家の名和晃平がアートをめぐり語りあいます。

日時：5月16日（土）14:00～15:00 会場：東京オペラシティビル7F 第1会議室（定員80名 [全席自由]）

参加費：無料（展覧会の入場は別料金）

参加方法：当日11:00から東京オペラシティ アートギャラリー受付（東京オペラシティビル3F）にて整理券配布、おひとり1枚のみ。
13:45から会場（東京オペラシティビル7F 第1会議室）入口にて整列入場をお願いいたします。

ARTGALLERY TOKYO OPERA CITY

東京オペラシティ アートギャラリー
〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2
Tel. 03-5777-8600（ハローダイヤル）

Tokyo Opera City Art Gallery
3-20-2 Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku,
Tokyo 163-1403 JAPAN

URL: <http://www.operacity.jp/ag/>



【同時開催】
収蔵品展 051 30+A / project N 60 富田直樹

[Exhibitions held during the same period]
From the Terada Collection 051 30+A /
project N 60 TOMITA Naoki

奥山民枝《嶺雲》 油彩、キャンバス 1983 photo: 早川宏一

【交通のご案内】 Access

- ・京王新線 初台駅東口（直結）徒歩5分、小田急線 参宮橋駅より徒歩15分
- ・渋谷駅よりバス（約20分）京王バス 渋61、渋63、渋64、渋66、都営バス 渋66
- ・ by train: Direct access from east exit of Hatsudai station on Keio-New Line. 15 min. on foot from Sangubashi station on Odakyu Line.
- ・ by bus: From Shibuya (approx. 20 min.) Keio bus 渋61, 63, 64, 66, Toei bus 渋66

東京オペラシティ **Arts版の会** 会員募集中

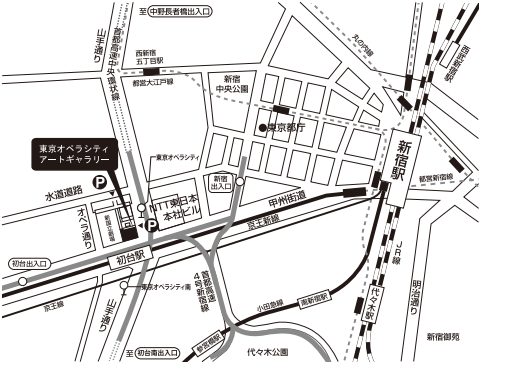
東京オペラシティ アートギャラリーおよびコンサートホール、リサイタルホールの企画を楽しんでいただける会です。アートギャラリー入場無料など、様々な特典をご用意しております。詳細は事務局までお問い合わせください。Tel: 03-5353-0799

次回展覧会予告

「鈴木理策写真展 意識の流れ」

2015年7月18日 [土]－9月23日 [水・祝]

同時開催：収蔵品展 052 寺田コレクションの水彩画（仮題）／project N 61 西村有



（表面図版）名和晃平《PixCell-Lion》2015 ミクストメディア Photo：表恒匡 | SANDWICH